



京大新聞 発行所 京都市左京区吉田 京大新聞社 編集・京大新聞部

週一隔一隔 隔一隔一隔 隔一隔一隔 隔一隔一隔 隔一隔一隔 隔一隔一隔 隔一隔一隔 隔一隔一隔 隔一隔一隔 隔一隔一隔

学長団交完全に決裂

京大寮連闘争

京大寮連闘争は、学長団交の完全決裂を招き、寮生実力闘争を決定した。寮生側は、学長団交の完全決裂を招き、寮生実力闘争を決定した。寮生側は、学長団交の完全決裂を招き、寮生実力闘争を決定した。

学長「受益者負担は当然」

寮生実力闘争を決議

闘争宣言を発表

十日から寮費不払に突入

寮生側は、学長団交の完全決裂を招き、寮生実力闘争を決定した。寮生側は、学長団交の完全決裂を招き、寮生実力闘争を決定した。

北爆で円山に五千人

一 派 共闘拒否で混乱



北爆で円山に五千人。一 派 共闘拒否で混乱。北爆で円山に五千人。一 派 共闘拒否で混乱。北爆で円山に五千人。一 派 共闘拒否で混乱。

新王 今月中にも決定か

所長会談で明らかに



得せしよとす所長と次会月日に闘し混乱

新王 今月中にも決定か。所長会談で明らかに。新王 今月中にも決定か。所長会談で明らかに。

長期戦の様相



長期戦の様相。USCの士気は、北爆の被害を受けた学生たちの士気を鼓舞し、長期戦の様相を呈している。

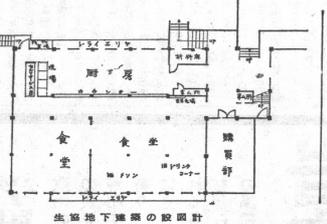
解説

解説。北爆の被害を受けた学生たちの士気を鼓舞し、長期戦の様相を呈している。

近畿研究会開催

問題点の提起に停まる

近畿研究会開催。問題点の提起に停まる。近畿研究会開催。問題点の提起に停まる。



生協地下連廊の設計図

生協地下連廊の設計図。生協地下連廊の設計図。生協地下連廊の設計図。

現代の眼 7月号大券120円 特集知識の機能と知識人 知識人の影の領域、竹内実 反憲責任、戦後飯田、金川 雅 憲法状況、藤田、加藤一 都議会議決、五月五日、石田都大 地域開発の断層、佐木隆 葦沖輝の内幕、藤田

自由社 自由 7月号 140円 命題戦後教育の疑問 日本列島の境界... 藤本 哲郎 日本列島の境界... 藤本 哲郎 日本列島の境界... 藤本 哲郎

戦後を拓く 思想 小田実 日本列島の境界... 藤本 哲郎 日本列島の境界... 藤本 哲郎 日本列島の境界... 藤本 哲郎

ヴェトナム戦争 小田実 日本列島の境界... 藤本 哲郎 日本列島の境界... 藤本 哲郎 日本列島の境界... 藤本 哲郎

徳間書店 資本主義社会を左右する金融資本のすべて 金融資本論入門 徳間書店 徳間書店 徳間書店

「素粒子五十年」

日本の素粒子研究

小林 稔

素粒子物理学は、物理学の中心領域として、戦後二十年間に著しい発展を遂げた。その中心は、素粒子の相互作用の理解にあり、そのために、理論的・実験的の両面から、鋭い研究が行われてきた。

今日、素粒子物理学は、物理学の中心領域として、戦後二十年間に著しい発展を遂げた。その中心は、素粒子の相互作用の理解にあり、そのために、理論的・実験的の両面から、鋭い研究が行われてきた。

物理学の

広大な分野を開拓

理論から素粒子の性質を規定

素粒子物理学は、物理学の中心領域として、戦後二十年間に著しい発展を遂げた。その中心は、素粒子の相互作用の理解にあり、そのために、理論的・実験的の両面から、鋭い研究が行われてきた。

素粒子物理学は、物理学の中心領域として、戦後二十年間に著しい発展を遂げた。その中心は、素粒子の相互作用の理解にあり、そのために、理論的・実験的の両面から、鋭い研究が行われてきた。

素粒子物理学は、物理学の中心領域として、戦後二十年間に著しい発展を遂げた。その中心は、素粒子の相互作用の理解にあり、そのために、理論的・実験的の両面から、鋭い研究が行われてきた。

素粒子物理学は、物理学の中心領域として、戦後二十年間に著しい発展を遂げた。その中心は、素粒子の相互作用の理解にあり、そのために、理論的・実験的の両面から、鋭い研究が行われてきた。

素粒子物理学は、物理学の中心領域として、戦後二十年間に著しい発展を遂げた。その中心は、素粒子の相互作用の理解にあり、そのために、理論的・実験的の両面から、鋭い研究が行われてきた。

素粒子物理学は、物理学の中心領域として、戦後二十年間に著しい発展を遂げた。その中心は、素粒子の相互作用の理解にあり、そのために、理論的・実験的の両面から、鋭い研究が行われてきた。



多民族国家の顔々 (ニューヨーク五番街で)

ユダヤ人の高等教育

誰かがボクらを差別している

アメリカ

ユダヤ人の高等教育に関する記事の本文。ユダヤ人の高等教育に関する記事の本文。ユダヤ人の高等教育に関する記事の本文。

砂糖は明糖

明糖株式会社 粗局敬売

新日本文学

7月号

近着雑誌

新潮社 新刊

東京都港区区外赤坂町一丁目 郵便番号東京八〇八番

妻たち(上)

瀬戸内晴美著

不意の出来事

吉行淳之介著

世界史と日本

林健太郎著

詩人志蓮蓬

小高根二郎著

奇人怪人物語

黒沼健著

人類の美術

新潮社版/全43巻/第14巻

人間の運命第二部

孤独の道

ソリーミライ全集

新潮社版/全13巻

南回帰線

大久保康雄

北回帰線

大久保康雄

三菱レイヨンは 確信する

若人の正念場

三菱レイヨンは、常に両時代の要求に応え、さらに来たるべき新時代の開拓者として、ダイナミックな躍進を続けている。当社は、概えず経営基盤、前進を心がけ、現状に止まることを知らない。当社にとって「現状維持」はすなわち「後退」を意味する。これは企業人にとって自明の理であるといえぬ。厳しい競争の毎日である。しかし、それだけに新しい進取が顕著。充実した日々であり、大きな喜びがあるのだ。取締役の刷新と共に新分野の開拓に力を注ぎ、多角経営の果を上げつつある。三菱レイヨンは、化学工業会社として業界に固まる地位を築いていく。当社の基盤がその基である。このわが社の今日の栄光を再来し、そして新しい「将来」の発展を約束するものは、いまでもよく働く人材である。「企業は人なり」。若い古きれた言葉だ。最近の企業における合言葉である。しかし、当社ですべてこの言葉が長い経営活動の裏を通して体得され、培われてきた。そして、それは見事に芽をよみ、たくましく伸びている。優秀な人材を広く求め、それが容易に活躍できる場を与えること。ここに当社の誇りがある。だから、当社は躊躇のたぐいぬき力を尊重する。フレッシュな前進力を高く評価する。ぬれる若き情熱を貴重なものとする。わが社は、若い進取がその力を輝かす最もよい会社だと自負している。

未来はここに始まる

企業永遠の繁栄を約束するのは、革新への力強い研究活動及び企画調査、マーケティング等の経営革新の力である。特に当社が今日のめざましい発展を成したのも、さらにまた、将来への輝かしい展望をもち得たのも、実には当社が日ごと改められた研究活動の結実である。光栄した研究設備のもとで若い技術者たちが果敢な研究活動を行なっている。これら研究陣にたいしてチームワークによって結ばれている。すなわち「基礎研究」「応用研究」「工業化研究」「商品化研究」の3者が、相互に有機的なつながりをもって活動している。とくに、将来の新事業のための基礎研究、応用研究に力を注いでいる。未来への道を開く、これこそ企業にとって必要不可欠なものであるからである。また、海外にも研究開発あるいは調査のための研究者を派遣し、絶えず巨額の投資から研究を怠っていない。当社が研究陣に寄せる期待と信頼は大きく、わが社の未来はすべてここに始まる。そして、その期待と信頼は、ますます大きくなる。そして、その期待と信頼は、ますます大きくなる。そして、その期待と信頼は、ますます大きくなる。

世界企業めざして

当社は「多角化」と「国際化」を2本の柱とし、多角的な成長高分子工業として躍進を続けている。この両成長柱は互いに支えあっている。因に、最近2年間の成長率をみると、売上高を例、純益は1.5倍という驚異でも成長の伸びが著しい。この伸びは、多角化と国際化の両面からきている。当社は世界3大企業めざし、売上高5000億円、純益1000億円を目標とする。成長産業の花形、合成繊維と合成樹脂を推進中である。すなわち、売上高3社計年間1000億、純益1000億円の成長を目標に、ポリエチレン、ポリプロピレン、ナイロン、アクリル樹脂、アセチン等の高付加価値の合成樹脂、新事業も時代の発展を牽引する。石油化学分野において、米国DCCと技術提携を結び、目下着々と企業化を準備中である。当社は、これを契機として、明日への限りのない前進を生命として、成長産業の花形、合成繊維と合成樹脂を推進中である。すなわち、売上高3社計年間1000億、純益1000億円の成長を目標に、ポリエチレン、ポリプロピレン、ナイロン、アクリル樹脂、アセチン等の高付加価値の合成樹脂、新事業も時代の発展を牽引する。石油化学分野において、米国DCCと技術提携を結び、目下着々と企業化を準備中である。当社は、これを契機として、明日への限りのない前進を生命として、成長産業の花形、合成繊維と合成樹脂を推進中である。

